

平成30年度事業報告

高齢者が自ら培った知識や経験、ノウハウを活かし、シルバー人材センターの基本理念である「自主・自立、共働・共助」のもと、高齢者の生きがい、働きがいを見つけ、地域社会に一層の活力を生み出すとともに多様化する地域のニーズに応えるべく新規会員の加入を促進し、就業機会の確保・拡充により、センター機能の強化に努めました。

1 受託事業・労働者派遣事業

雇用延長、労働力不足など高齢者を取り巻く環境が大きく変化する中、新入会員の高年齢化や会員ニーズの変化、顧客ニーズとの乖離も見られ、加えて、平成30年度は猛暑、豪雨の影響もあり、就業延人員、契約額とも大きく減少しました。

受託事業は、対前年度で約1,000万円、5.8%の減となり、特に企業、一般家庭等民間からの受注減が顕著でした。雇用延長に伴う企業内での業務配分や、地域全体の高齢化に伴う発注状況等の社会情勢の変化に加え、シルバー人材センターにおいても実働会員数の減少により履行まで時間がかかる例が増えてきたことなどにより顧客ニーズに十分こたえられない状況が発生していることなどが要因として考えられます。

労働者派遣事業は前年度大きく伸びたものの、平成30年度は対前年度で約280万円、8.4%の減となっています。企業から発注があっても、その業務に従事を希望する会員がいない等、需給のニーズに相違する傾向が見られ、契約額が減少しました。

2 調査研究

公益社団法人香川県シルバー人材センター連合会主催の各種研究会に参加、また、民間主催の研修会・講習会に参加し研鑽を重ね、事業の推進・強化を図りました。

3 普及啓発

地域住民、事業所などに対しシルバー事業の活用並びに会員の加入促進を図るため普及啓発に努めました。

☆ 会報「第51号」「第52号」を発行、関係機関、公民館などに配布

☆ カレンダー等啓発資材の配布

